

# Advanced南薩

南薩教育事務所長 濱田 耕一

子供の頃、国語の教科書の物語が楽しみで、配られると一気に全ての作品を読みました。その中で「殿様の茶碗」は、印象に残っているものの一つです。

誉れ高い陶工が献上した薄手で軽い芸術品のよ  
うな茶碗で、毎日、直に伝わる熱さに耐えながら食  
事をしていた殿様。鷹狩りが遠出となり、急遽、宿  
を求めた農家で、名も無い職人が作った厚手で素朴  
な茶碗の快適さに触れた殿様は、お褒めがかかるの  
を待っていた名工を呼んで「茶碗の良さの本質」を  
論じます。

実は授業参観の折、この話を思い出します。課題  
解決の流れに沿った発問に対して期待どおりの発  
表があり、きちんと準備された教材・教具で適切に  
活動する子供たち。無駄の無い授業運びは、子供の  
反応を経験し、教材研究を重ね、教材・教具を工夫  
してきた、指導法スキルの熟練によるものですが、  
学習の進め方が洗練されるほどに、きれいすぎて何  
か足りない気がすることがあります。

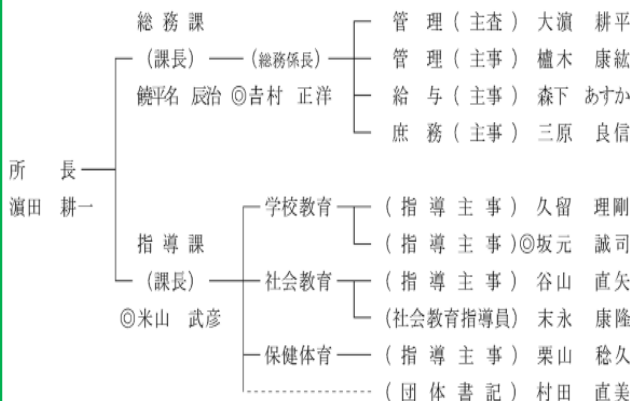
芸術家は観る相手に依らず、表現したものが唯一  
無二であることにこだわり、自分のペースで作品を  
創りあげます。一方、職人は使う相手を思い、変ら  
ない品質にこだわり、使い勝手のよい品物を毎日つ  
くりまします。こだわりを誰のために、どこに置くの  
が大きく違う両者を比べると、教師は孤高の芸術  
家ではなく、日々、丁寧な仕事を心がける職人であ  
りたいものだと思ふところではあります。

「主眼的・対話的で深い学び」とは、子供の話し合  
い活動のような「見た目のかたち」を重視している  
のではなく、固定概念や経験知をゆさぶる教師の発  
問でざわつく「子供一人一人の内面の動き」である  
ことはいまでもありません。

平成 30 年度の人事異動により、3 名の所員が転入してまいりました。新しい  
機構は、左のとおりです。お尋ねになりたいことがあれば御連絡ください。

総務課 0993-52-1280 指導課 0993-52-1281

## 南薩教育事務所機構



◎が本年度の転入職員です

### 心身の健康の保持・増進

新年度が始まり一ヶ月が過ぎましたが、こんな症状はありませんか？

理由もないのに不安な気持ちになる

胸がどきどきする、息苦しい

なかなか熟睡できない

家族や同僚に、表情が暗い、元気がないと言われた

こころの病気は誰にでも起こります。初期サインに気がいたら、早めに専門機関へ相談しましょう。

## 諸手当の申請はお済みですか？

年度の変わり目は、諸手当の変わり目でもあります。扶養親族の異動、家賃額の変更、通勤方法の変更など、手当に関しては、原則申請主義となっています。後になって変更の事実が判明すると多額の返納を被る可能性があります。(損をすることも！)

今一度、御自分の申請内容を確認するとともに、毎月の給与内訳を御覧いただき、正しい手当額となっているかじっくり見てみましょう。

### 主な手当のよくある申請漏れ

住居手当	知らないうちに、家賃額が下がっているケースがあります。毎月の家賃領収書（口座振替の場合は通帳記載内容）を確認して、直近の申請内容と見比べてみましょう。
扶養手当	扶養親族が就職したり、手当を受給できる年齢を超えたりしていませんか。また、大学に入学した扶養親族がアルバイトを開始し、手当受給要件を超える所得が発生していませんか。
通勤手当	認定されている経路において、バイパス開通や長期の道路工事により通勤経路等に変更がありませんか。自動車等の使用距離が変わると手当月額が変わる可能性があります。

※ 平成 30 年 4 月 1 日から、扶養手当の支給額に改正がありました。御自分の給与明細で確認してみましょう。

※ 他にも、単身赴任手当や児童手当など、それぞれの手当について支給要件が定められています。少しでも不明な点がある場合は、事務職員や校長先生に相談しましょう。

## 学力向上

授業改善のポイントの活用

確かな学力の定着を目指したより質の高い授業とするため、次の3つを重点事項として、授業の改善・充実を図ってください。

### ア 目標の明確化と学習課題の工夫

授業で学習課題を明示しているか。さらに、児童生徒の問いを生かした課題や、単元を通して追究する課題を設定するなど、教科や学習内容のねらいに応じて、学習課題を工夫しているか。

### イ 見通しと振り返りの活動の重視

#### ◇ 見通しをもつ活動

いつも教師からの指示や提示がなければ学習が進まない授業になっていないか。課題の解決に何が必要か、どう考えれば、あるいはどんな工夫をすればよさそうか、既習の事柄で役に立ちそうなことは何かなどを考え、学習の見通しを立てる活動を、単元あるいは単位時間の中で、計画的に位置付ける。

#### ◇ 振り返りの活動

学習のまとめをさせるなど学習を振り返る活動を設定しているか。さらに、板書やノートに書いたことを生かしたり、本時の思考過程(考えたこと)を整理したりするなど効果的な振り返りの活動となるよう工夫しているか。

### ウ 主体的・協働的な学習活動の工夫

教科の特性や学習の内容に応じて、多様な学習活動を工夫していくことが重要だが、その際、児童生徒が活発に、積極的に活動できるものに、ということだけで活動内容を決めていないか。

「主体的・対話的で深い学び」を意識し、児童生徒が主役の授業づくりを進めましょう!!

## 心の教育

生徒指導の充実に向けて【再確認】

いじめの認知は「いじめの定義」に基づいて行ってください。

### いじめ防止対策推進法第2条

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

※ 物理的な影響とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりすることなどを意味する。けんかやふざけ合いであっても、見えない所で被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、児童生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断する。

いじめの定義に「一方的に」、「継続的に」、「深刻な苦痛」などの要素は含まれていません。

個別の状況を複数で構成される校内のいじめ対策の組織等で、対応も含め協議し、児童生徒の生命や心身に危険が生じることを防止することが大切です。

文部科学省の問題行動等調査では、「物を隠されたり、上履きに画鋲を入れられたり、悪口を書いたメモを机に置かれたりしたが誰がやったか分からない場合、行為者が不明であればいじめの定義の要件が満たされるとは言えないが、実際に学校でいじめとして対応していることは言うまでもなく、問題行動等調査においてもいじめがあったものとして取り扱う。」としています。

## 体力向上

「たくましい“かごしまっ子”の育成」

### <目標>

体力運動能力調査で小学校・中学校ともに全国平均以上  
<平成30年度地区の重点>

#### 1 体力の底上げ

- (1) 体力・運動能力調査の結果分析
  - 体力ナビの活用、自校課題の分析、課題に対する具体的な取組、体力向上推進プランの見直しとその活用
- (2) チャレンジかごしまの継続的な取組
  - 小学校学級申告80%以上、中学校学校申告70%以上
- (3) 体育授業の充実
  - 新学習指導要領を踏まえた授業の実践、各研修会への積極的な参加
- (4) 運動部活動の適切な運営
  - 国のガイドラインを踏まえた適切な運営、体罰の厳禁

#### 2 健やかで元気な体と心づくり

- (1) 学校保健委員会への学校医の参加(目標70%)
- (2) むし歯のない生徒の割合(目標 中1:55%)
- (3) 食に関する校内研修の充実(研修実施率 目標90%)
- (4) 指導方法の工夫(栄養教諭とのTT授業 目標90%)

#### 3 命を守る取組

- (1) 危機管理マニュアル等の活用・改善
- (2) 実効性のある訓練・危機回避能力の育成
  - ショートの避難訓練、予告なしの避難訓練、KYT等
- (3) 適切な安全管理に基づく管理の徹底
  - 安全点検におけるマンネリ化の防止、教職員の安全意識の高揚

## 社会教育

### 「家庭の教育力の向上」

#### 【地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備】

- 家庭教育支援啓発資料「親子手帳」の活用  
各種関係団体や各市社会教育委員、保護者等の意見を参考に作成しました。  
今年度、小学校・義務教育学校に入学した保護者と当該学級の担任へ配布してあります。  
学級PTAや家庭教育学級で活用を!!



#### 【地域全体での読書活動の推進をととした家庭教育の充実】

- 「1日20分読書」運動の推進  
小学校：朝読み夕読み20分  
「言葉や文章の意味を考えながら音読する20分」  
中学校：ジャンルを広げて20分  
「様々なジャンルの本に読書の幅を広げる20分」



#### 【家庭教育の充実に向けた資料の活用】

- 家庭教育啓発リーフレット「家庭教育1・2・3〜キホンをもとに〜」  
キホンその①基本的な生活習慣編  
キホンその②親子のふれあい絆編  
キホンその③規範意識を育むために
- 家庭教育に関する世代プログラム  
幼〜小：「ほめ方・叱り方」の極意とは?  
中〜高：「きました!!反抗期」

学級PTAや家庭教育学級での活用を!!

→ 県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku>

## 学校の「学びの組織活性化」推進プロジェクトについて

県教育委員会では、平成30年度より「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上プログラムを推進していきます。このプロジェクトでは、学力向上に向けた授業づくりや学校研修組織の活性化を図る「学びの組織活性化」推進プロジェクトやコアティーチャーネットワーク会議、外国語教育の充実など学力向上に向けた様々なプロジェクトに取り組みます。南薩教育事務所においても、英語教育スキルアップ研修やオープンサポート教科フォーラム、よりよい授業づくり発表会など、指導力向上や授業改善に向け、研修会においていろいろな情報提供を行ってまいります。ぜひ多くの先生方に参加いただき、南薩地区の児童生徒の学力向上や先生方の指導力の向上につなげていただきますようお願いいたします。各種研修会の参加につきましては、今後各市教育委員会を通じてお知らせしてまいります。よろしくお願いいたします。